



最先端の環境技術が長浜に集結

国内最大級の環境見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ」が長浜ドームで開催され、3日間で36,270人が来場されました。会場には478の展示ブースが設けられ、出展企業の最新製品や、研究・開発の成果などが紹介されていました。商談をする方などの熱気がドーム一杯にあふれ、環境産業に対する関心の高さを感じました。



おさかなさん 早く大きくなってね

草野川の上流で行われた「魚の放流体験」。草野川漁業協同組合が毎年この時期に、魚の放流を通して、河川環境に関心を持ってもらおうと協力しているもので、地元の上草野小学校の4～6年生が体験しました。放流したのは、ニジマスやアマゴなどの稚魚3000匹。子どもたちは、「早く大きくなってね」と声をかけながらそっと放流していました。

きもの姿で人と文化にふれる

きもの姿で文化講座を楽しむ「長浜きもの大学」が中心市街地の商店などで開催されました。和菓子づくりや写真教室、オーデコロン調香など様々なジャンルの講座の中から、好みの2つを選択して受講するシステムで、県内外から参加された335人が、ものづくりなどを楽しみながら、地元商店主などが務める講師との交流を深めておられました。



木もれ日と紅葉を楽しむひととき

多くのボランティアや、長浜農業高等学校の生徒さんなどの協力で参道がきれいになった「近江孤蓬庵」。11月中旬には色づき始めた庭の紅葉を見ようと、多くの観光客が訪れていました。例年は12月上旬まで楽しめるそうですが、今年は色づきが少し早いとのこと。訪れるときは電話でご確認を。

▶ 近江孤蓬庵(上野町)、☎742116
拝観時間9時～17時、拝観料300円

* 写真撮影日：11月14日(金)



初めて見る微生物の世界

七尾小学校で行われた理科支援員の特別講義。今年は長浜バイオ大学の向由起夫准教授を特別講師に迎え、5年生17人が微生物について学びました。子どもたちは微生物が体内や土の中にいることなどの説明を受けた後、自分の手の指の微生物を顕微鏡で見て、普段は見ることができない微生物の姿や動きに驚きの声を上げていました。



生産者とふれあいながらお買い物

さわやかな秋晴れの中、「ふれあい長浜農林水産まつり」が神照運動公園で開かれ、地元で取れた秋の味覚を求めて大勢の方が訪れました。今年のテーマは、地元で穫れたものは地元で消費する「地産地消」。特設ステージでは、地元産農産物を使ったおいしい料理の作り方などが紹介され、訪れた方は熱心に耳を傾けておられました。

ほっと にゅーす

このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ(☎6504)までお知らせください。



力を合わせ 応急処置を迅速に！

湖北地域の三つの病院と湖北地域消防本部が、初めて合同で実施した「メディカルラリー」。3人1組のチームに分かれ、制限時間内に想定された事件・事故に対応するもので、参加された看護師と救急救命士のみなさんは、交通事故や殺傷事件などのケースに対し、本番さながらのきびきびした動きで訓練に取り組まれていました。



市民役者の熱演に 拍手と歓声

今年で12回目を迎えた市民の手づくり歌舞伎「長濱ゆう歌舞伎」が、曳山博物館の伝承スタジオで上演されました。今回の出演者は小学生から50代までの市民12人。8月からの稽古の成果を披露し、会場一杯につめかけた観客から大きな拍手喝采を浴びていました。